

第3回志度東地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成19年12月13日（水） 午後7時00分～8時52分

場 所：鴨部ふれあいプラザ

参加者：委員20名（欠席4名）

事務局：教育総務課長、学校教育課長、担当職員4名

傍聴人：2名

1. さぬき市学校再編計画地域協議会の傍聴について

傍聴の手続き、遵守事項、会場の秩序維持の規定について委員に諮った結果、出席委員の賛同により承認。

2. 議題

(1) 報告

事務局より第2回地域協議会結果の報告。

(2) 議事

「小学校の適正配置について」

(質疑内容)

(委員) 施設建設計画第2案の志度東中跡地に統合する場合、先に中央小学校に統合し改修。その後、中学校跡地に新築することになった場合は、二重に費用がかかるのか。

(事務局) 中央小学校施設は耐震補強。その後、志度東中跡地に新築工事となる。

(委員) 小学校の再編は、中学校再編と総合的に考えなければならない。中学校の統合については校区の問題がでてくる。例えば、小方、泊は志度地区に近い。津田中と志度東中が統合するのは、数合わせの計画ではないか。自治会の行事等を考えた場合、志度中と志度東中が一緒になる方がいいのではないか。

(事務局) 計画案を作成する段階でも議論になった。校区を替えるのか、替えないのかという議論を詰めなければいけない。具体的にはこれからである。

(委員) 国道から中央小学校への新設道路の完成は、何時になるのか。

(事務局) 来年の3月末までには完成する。

(委員) 3校を統合するなら、早く中央小学校を補強したらいいのではないか。

(事務局) その方向で考えたい。

(委員) 小田小学校の現状からみれば、再編は早く進めてもらいたい。また、長期間使

用ができる施設を望む。補強した場合の耐用年数は。

(事務局) コンクリートの建物の耐用年数は、47年。補強工事をした場合の耐用年数は、一概に断定できない。

(委員) 現中央小学校の改修(耐震補強工事)後、志度中学校跡地に新築する考えもあるようだが、二重投資になるのではないか。

(事務局) 再編の時期により、二重投資になる可能性はある。できる限り二重投資を避ける計画で進めたい。

(委員) 案1(中央小へ小田・鴨部が統合後、施設の改修)は無理があるのではないか。仮校舎が必要になるのでは。

(事務局) 仮校舎が必要である。

(委員) スクールバスは市の運営か。

(事務局) 運営の方法には、市の直営方式と委託方式が考えられる。

(委員) 現施設を改修した場合も同じ条件で整備できるのか。

(事務局) 多目的スペース以外は整備可能である。

(委員) 現小学校のバリアフリーはできないのか。

(事務局) 段差があるところにスロープをつける程度は対応できる。

(委員) 通学の手段で、高学年が自転車通学はできないか。

(事務局) 可能である。現在、末の5、6年生は自転車通学である。

(委員) スクールバスには限界があるのでは。低学年、高学年では下校の時間が違う。

(事務局) 低学年と高学年では、当然、時間差がある。スクールバス運行になるとこの点は考慮する。

3. 次回の日程について

日時：平成20年1月17日(木) 午後7時00分

場所：鴨部ふれあいプラザ